

学 位 論 文 審 査 の 要 旨

学位申請者	<p style="text-align: center;">白澤 舞【論文博士】</p> <p style="text-align: center;">【比較社会文化学専攻 平成19年度生】</p> <p style="text-align: center;">(平成26年3月31日 単位修得退学)</p>	<p style="text-align: center;">要 旨</p> <p>トリシャ・ブラウンは、ジャドソン・ダンス・シアター(1962-64)の創設メンバーであり、1970年に自身の舞踊団 Trisha Brown Dance Company(以下TBDC とする)を設立し、半世紀にわたって旺盛な舞踊作品の創作を続け、世界的に評価される振付家である。本論文では、ブラウンの舞踊作品創作における理念、すなわち創作の動機や原動力となる彼女の関心や創作の意図を明らかにすることを目的としている。研究方法は、すでに言語化された資料からの検討だけでなく、筆者が実際に身体訓練法や作品創作を学ぶクラスに参加するという実践を通して体感を得、その体感に基づいて実践者たちへインタビューをすることによって再言語化した資料からの検討という2つの方向からの考察を行った。</p> <p>本論文に対する審査は査読に基づいて二回行われ、第一回審査会では、ブラウンの舞踊観を彼女の生い立ちから多くの作品創作を通して、「身体」という切り口で明らかにしようとしたことに独自性が見られると高く評価された。しかし、「身体」の曖昧な使い方を含め言葉の使い方、参与観察における批判的考察がないこと、また、序章における先行研究の位置づけ、評論家、研究者、ブラウンの言説が混在していることへの指摘を受け、それらの箇所への修正が求められた。</p> <p>第二回審査会では、以上の指摘に対し適切且つ妥当な加筆修正が施されていることを確認し、論文の内容が深まったと評価された。</p> <p>公開発表後、それに引き続いて行われた最終試験における質疑応答においても、真摯な姿勢で満足すべき応答が得られ、研究に対する理解力と学力が十分であるものと判定された。</p> <p>以上の結果、本論文は博士論文としての到達点に達していると評価され、本審査委員会は全員一致で、学位申請者白澤舞が最終試験に合格し、人間文化創成科学研究科の学位、博士（学術）Ph. D. in Dance Studies として認定するに値すると判定した。</p>
論文題目	<p>トリシャ・ブラウン (Trisha Brown 1936-2017) 研究—舞踊作品創作と一人ひとりの身体—</p>	
審査委員	(主査) 教授 猪崎 弥生	
	教授 水村 真由美	
	助教 福本 まあや	
	准教授 中野 裕考	
	助教 井上 登喜子	
インターネット公表	<p>○ 学位論文の全文公表の可否（可 ・ 否）</p> <p>○ 「否」の場合の理由</p> <div style="border-left: 2px solid black; border-right: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>ア. 当該論文に立体形状による表現を含む</p> <p>イ. 著作権や個人情報に係る制約がある</p> <p>③. 出版刊行されている、もしくは予定されている</p> <p>エ. 学術ジャーナルへ掲載されている、もしくは予定されている</p> <p>オ. 特許の申請がある、もしくは予定されている</p> </div> <p>※ 本学学位規則第22条第4項に基づく学位論文全文のインターネット公表について</p>	